

材木としての椎の木の特徴及び活用事例

- 材は灰褐色あるいは黄褐色で重くて硬いが、乾燥すると割れやすく、耐久性は低い。材木として利用されることは少なく、薪やシイタケ栽培用の櫓木(ほだぎ)にされることが多いが、稀に器具、建築造作、枕木、床材、パルプ等に使われる。

椎(スタジイ)：ブナ科	
特徴	辺材は黄色を帯びた灰白色、心材は黄褐色で、辺心材の境目は不明瞭。木理は交錯し、肌目は粗い。重硬だが加工性は比較的よい。耐朽性は小～中程度。
用途	構造材、器具、建築造作、枕木、床材、パルプ・彫刻など
色味	黄
硬さ	中
価格	安
比重	0.61 g/cm ³ (参考値:スギ 0.38, マツ 0.63, ケヤキ 0.7)



木肌の様子



製材した板

上記の情報および写真は(有)高田製作所 HP より引用抜粋

椎木の製材加工の留意点

- ・ シイは非常にデリケートで、 温度を高くするとすぐに割れてしまう。3ヶ月間じっくり天然乾燥した後、約50度の低温域で仕上げの乾燥を行うなどの一手間が必要である。



低温乾燥中の状態
(株)シンラテック
HPより

椎木の活用事例

事例1 家具（テーブル、ベンチ）



椎木一枚板テーブルの製作事例 写真3枚とも榎本銘木店 HPより

例えば、

- ・ 学校の玄関であり顔でもある昇降口ホールなどに、来校した人も使える家具（テーブルとベンチ）として設置。

事例2 記念品など（雑貨や文具）



椎木キーホルダー



レーザー加工により
自由に製作が可能



椎木オーナメント
(木製飾り)



椎木ネームホルダー

写真4枚とも FRONTIER JAPAN (株) HPより

例えば、

- ・ 校章や椎木をモチーフとしたキーホルダーや、レーザー加工によるオーナメント（木製飾り）、ネームホルダーなどの記念品を製作。
- ・ 上記レーザー加工技術を活用して、体育館などの室内に設置する校章を製作して設置。



小日向台町小校章

※どれがどのくらい製作可能かは実際に生木である椎木を伐採し乾燥させ、木材を製材した段階でわかる。